

2018年12月は日経平均インデックス・ファンド中心に
日本株人気、グローバル株人気が継続! つみたて
NISA投資家ではアセットアロケーションも!!

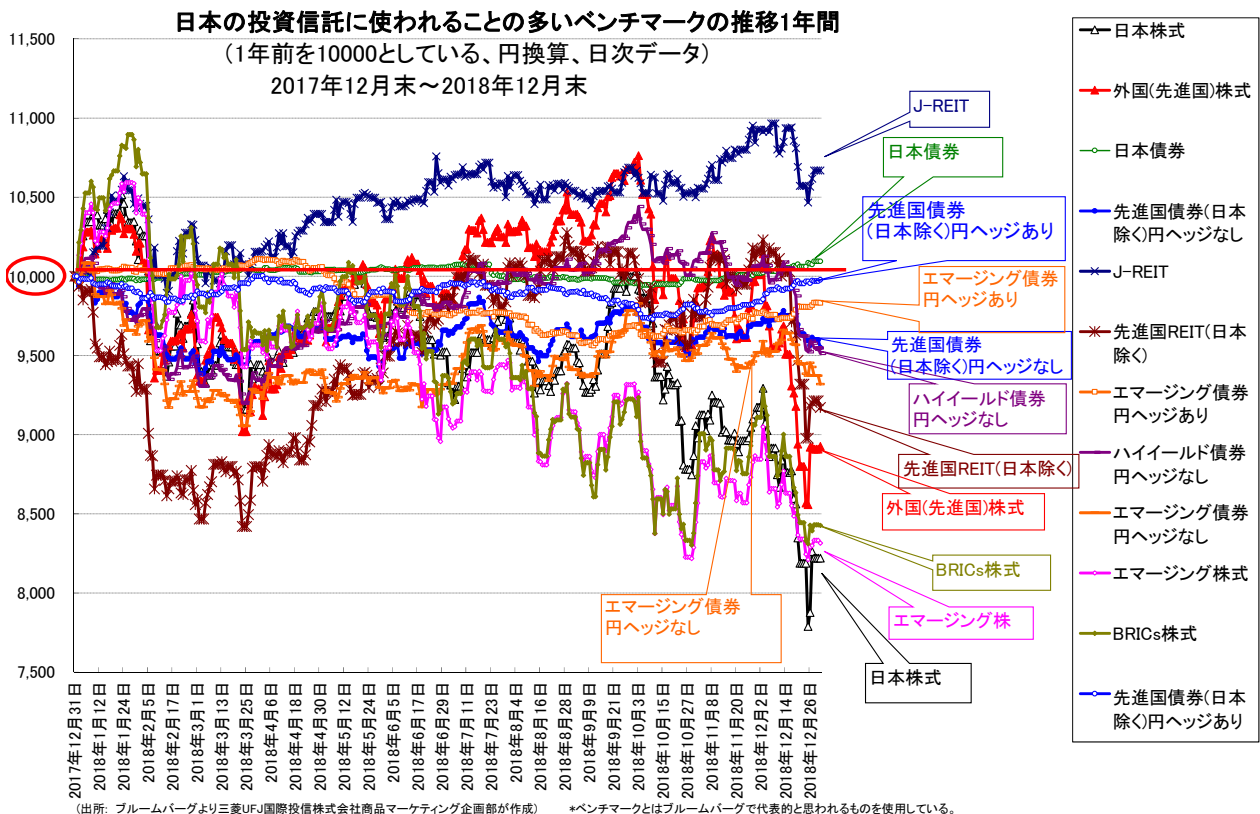
三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 松尾 健治
窪田 真美

※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

7年ぶりに日経平均株価が下落、金融危機並みの異常事態とも言われる2018年、その12月にNISAで何が買われたか?

NISA導入5年目となる2018年は、12月に日経平均が前月比-10.5%と2018年の2月(-4.5%)や10月(-9.1%)を上回る株価急落に見舞われた。米国発の世界株安の中での日本株急落だ。「2018年の金融市場はほとんどのリスク資産がリターンを生まない『勝者なき1年』となった。…(略)…。世界の46カ国・地域のうち43市場の株価指数が下落し、上昇はブラジルやインドなど3市場のみ。…(略)…。株だけではない。通常、株式と逆に動く債券もおおむね下落し、原油などの商品や不動産投資信託(REIT)からも資金が流出した。…(略)…。08年以来の『敗者』の多さで、金融危機並みの異常事態といえる。」とされている(2018年12月29日付日本経済新聞朝刊～URLは後述[参考ホームページ]①参照)。

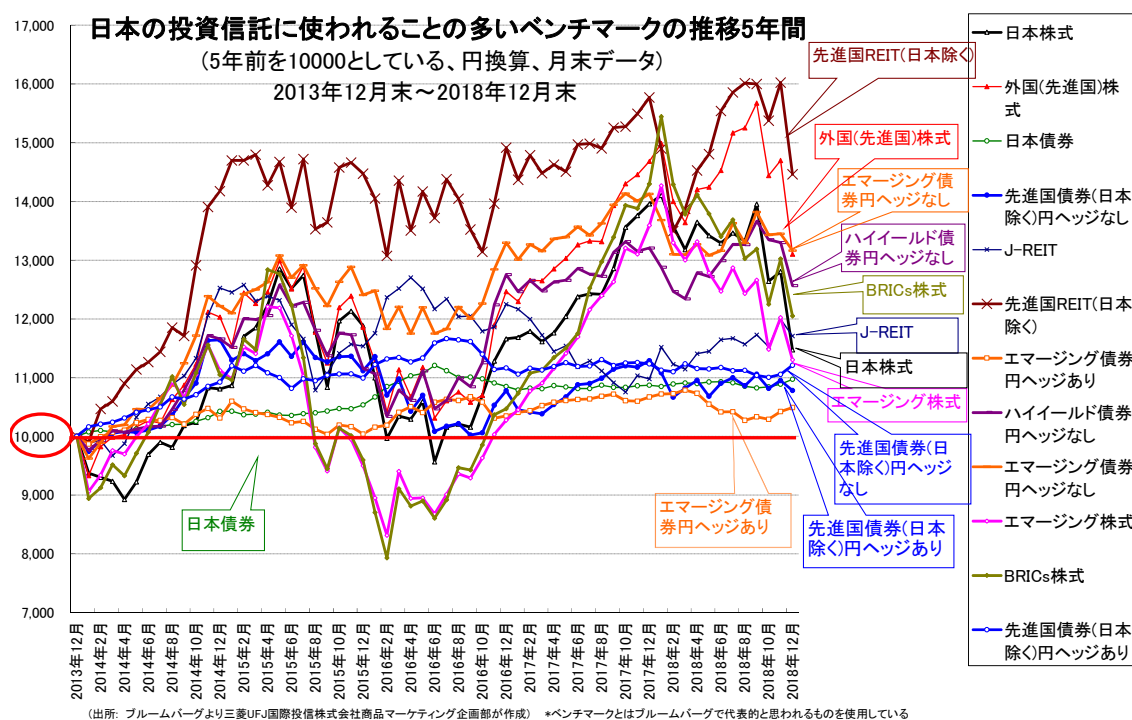
金融危機並みの異常事態とも言われる2018年の最新12月における投信投資家の投資動向を見る。まず、日本の投信に使われることの多いベンチマークの2018年12月末までの1年間のパフォーマンス推移を見たものが下記グラフである。パフォーマンスの好い順に、日本REIT、日本債券、先進国債券円ヘッジあり、エマージング債券円ヘッジあり、となっており、足元で内外の株式が大きく下落し、日本REITと日本債券だけがプラスだった(*1年前を10000としている、円換算、日次データ)。



投信のパフォーマンス急低下については、「7年ぶりに日経平均株価が下落した2018年、投資信託の基準価格もほぼすべてで下落した。国内株式中心に運用する公募投信で上昇したのは1本だけだった。…(略)…国内の公募投信全体でも全726本のうち9割強の676本が下落した。」(2018年12月29日付日本経済新聞朝刊～URLは後述[参考ホームページ]①参照)などと言われる。

日本株は2018年12月の1カ月では上記ベンチマーク中、下から2番目(最低が先進国株式)、2018年6月末からの半年や1年、3年では、いずれも最低となっているが、5年では7番目のパフォーマンスだった。先進国株式は、3年では上記ベンチマーク中、4番目、5年では3番目に好かったが、2018年6月末からの半年では下から3番目、2018年12月の1カ月では最低だった。

下記グラフは5年のパフォーマンスである。パフォーマンスの好い順に、先進国REIT、エマージング債円ヘッジなし、先進国株式、ハイイールド債円ヘッジなし、BRICs株式、日本REITとなっている(*5年前を10000としている、円換算、月末データ)。5年で下記グラフのベンチマーク中、最も好いパフォーマンスの先進国REITは、3年や2018年12月の1ヶ月では下から3番目、1年や2018年6月末からの半年では下から5番目だった。

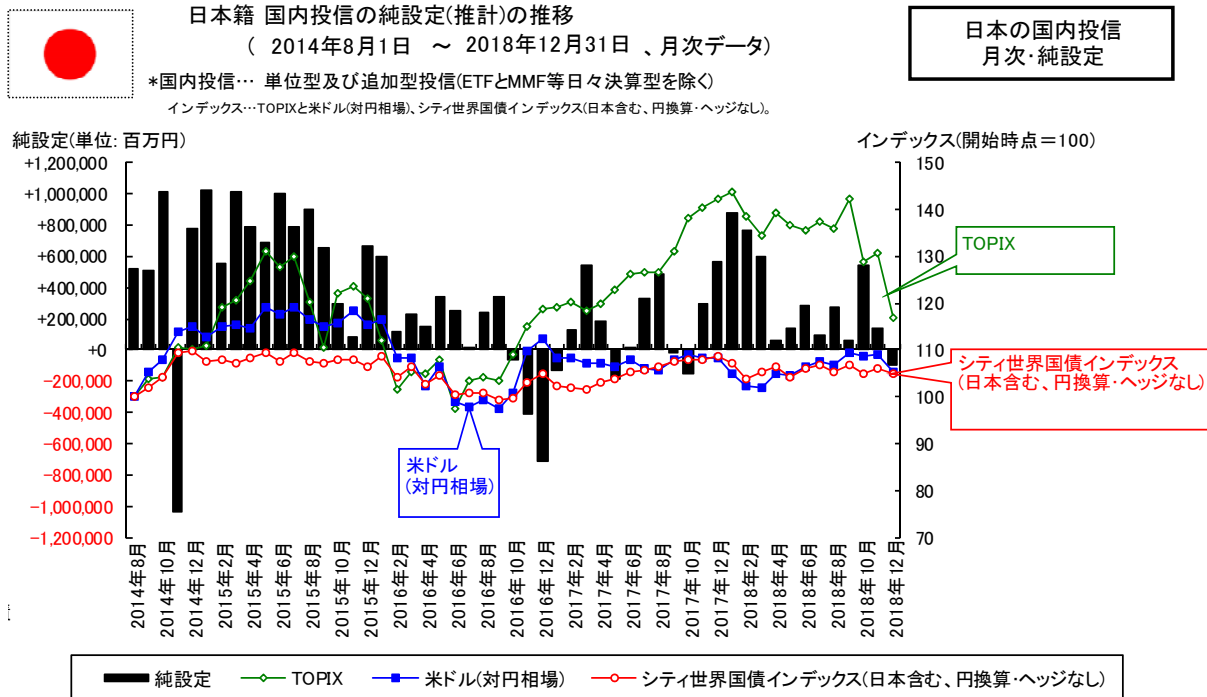


投信フロー最新動向～既存投資家(投信全体)は日本株～

2018年のリターンがプラスだった投信は、国内株式ファンドで1本、公募投信全体でみても1割弱に過ぎなかったと言われる1年だが、2018年最後の1カ月間(12月)に、投信でどのような投資が行われてきたのだろうか。「つみたてNISA」を含むNISAにおける投資で、その半数超を占める投信の最新動向は、今後のNISA投資家に有用なものになると思われる。

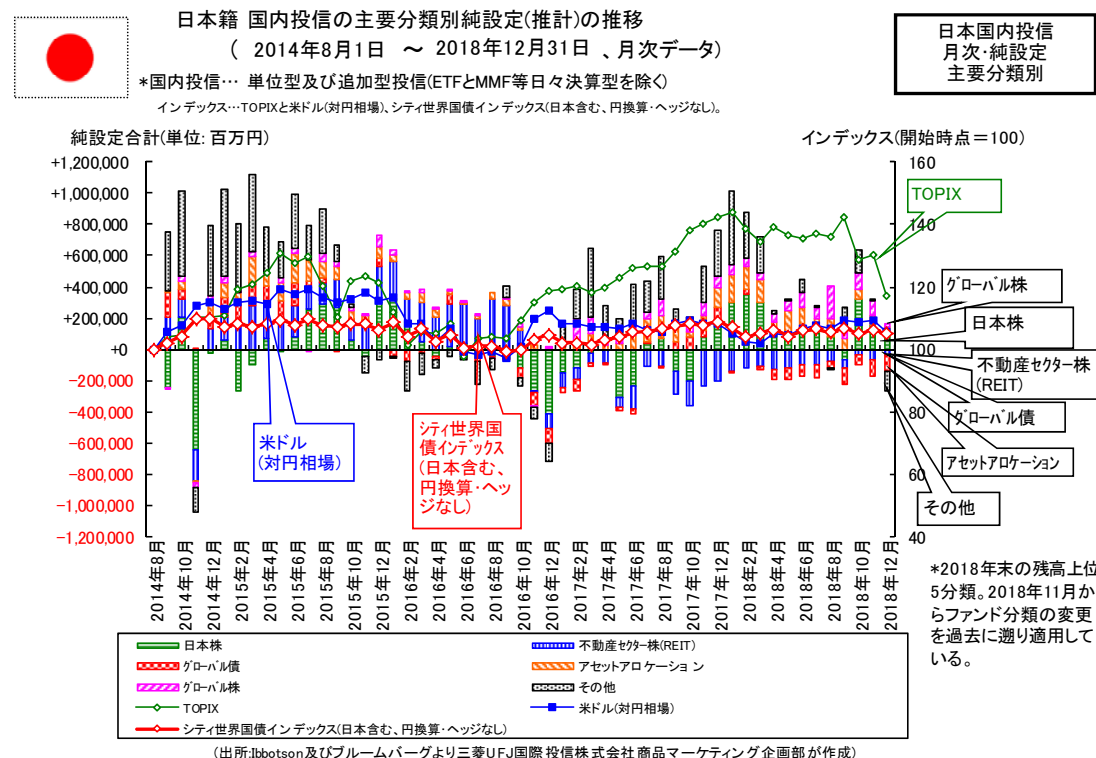
投信の最新フロー(純設定)を見るに際して、NISA投資家を「既存投資家」と「新規投資家」に分けることとする。NISAの「既存投資家」は投信全体のフローで代替し、NISAの「新規投資家」は「NISA向けファンド」(後述※1参照)で代替する。

既存投資家(投信全体)の純設定は最新 2018 年 12 月に-959 億円と 14 カ月ぶり純流出で減速傾向(←11 月 +1428 億円←10 月の+5403 億円~7 カ月ぶりの大きさ)。1-3 月の堅調な純流入が寄与して 2018 年の 1 年間(1~12 月)では+3.7 兆円と、前年 2017 年(+2.1 兆円)の約 1.8 倍だった。



(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

14 カ月ぶりの純流出となった既存投資家(投信全体)の純設定を、投資対象別で見る(下記グラフは投資対象/主要分類*に分けて見たもの)。2018 年 12 月に最も純設定の大きかったのは日本株(10 月から 3 カ月連続 1 位)、次いでアセットアロケーション慎重型(前月 11 月 4 位)、ヘルスケア株(前月 11 月も 3 位)、グローバル大型株(前月 11 月 2 位)、マルチオルタナティブ(前月 11 月も 5 位)。



(出所:ibbotson及びブルームバーグより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

株式相場の下落を受けてリターンが悪化した日本株やグローバル株は、純設定は減少するものの人気は継続している様である(日本株は12月+958億円←11月約+1600億円、グローバル株は12月+247億円←11月約+890億円)。

アセットアロケーション型については、そのうち、慎重型や標準型は前月と同水準の純流入となる一方、機動的に資産配分を変更する柔軟型(2016年7月以来の純流出)や、機動的な変更はしないが株式の組入比率が高い積極型では12月は一転、純流出となった。

マルチオルタナティブだが、単位型では2018年、円建て元本確保をめざす投信が新規設定されて個人や金融機関に注目されたが、前月12月にも196億円という当月最大の金額で新規設定された事が大きい。

*主要分類…モーニングスターによる分類で2018年12月末の純資産の大きい上位5分類である。グローバル株は、2018年11月1日のグローバル分類の変更でグローバル大型株及びグローバル中小型株と分かれた為、次頁グラフでは、従来通りの「グローバル株」として合算する。また、アセットアロケーション型は、「アセットアロケーション慎重型」、「アセットアロケーション柔軟型」、「アセットアロケーション標準型」、「アセットアロケーション積極型」、「アセットアロケーションその他」を合算。ヘルスケア株は「その他」に含む。

日経平均インデックス・ファンド人気は「つみたてNISA」の要件合致より、ロードやノーロード情報 0.5%超・代行 0.4%超!?

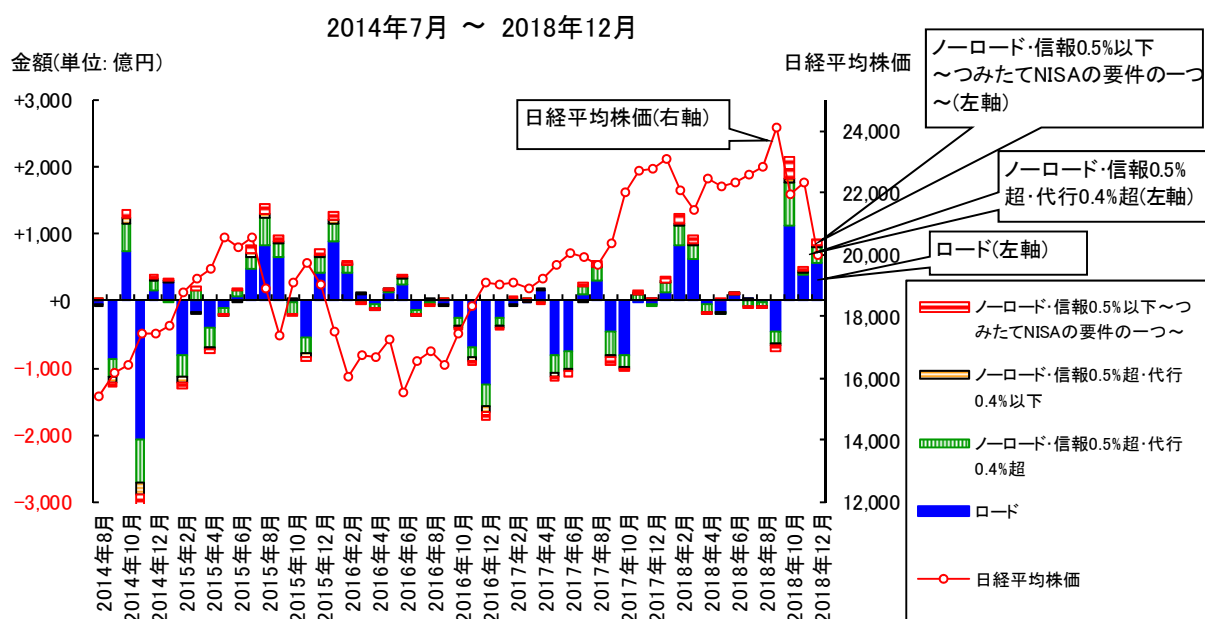
2018年10月の株急落時には「株安のときに安値で買う『逆張り』の資金が流入」(2018年11月7日付日本経済新聞～URLは後述[参考ホームページ]①参照)と言われたが、12月も同様に、日経平均連動型インデックスファンドが純設定の上位に並んだ。

日経平均株価連動インデックス・ファンドの月次純設定推移を見る(*ETFを除く追加型)。つみたてNISAの要件に「ノーロード・情報 0.5%以下」がある事、日経平均株価連動インデックス・ファンドのロードの単純平均が1.76%で、情報(信託報酬)と代行(手数料)の単純平均が各々0.56%と0.29%である事などを参考に分類した(つみたてNISAの要件について詳細は後述[参考ホームページ]①参照)。

2018年(1～12月)の純流入計+4928億円となる中、その内訳は、大きい順に、ロード+2955億円、ノーロード・情報 0.5%超・代行 0.4%超+1154億円、ノーロード・情報 0.5%以下～つみたてNISAの要件の一つ～+670億円、ノーロード・情報 0.5%超・代行 0.4%以下+149億円である。

日経平均インデックス・ファンド人気はつみたてNISAの要件合致より、ロードやノーロード・情報 0.5%超・代行 0.4%超となっている。

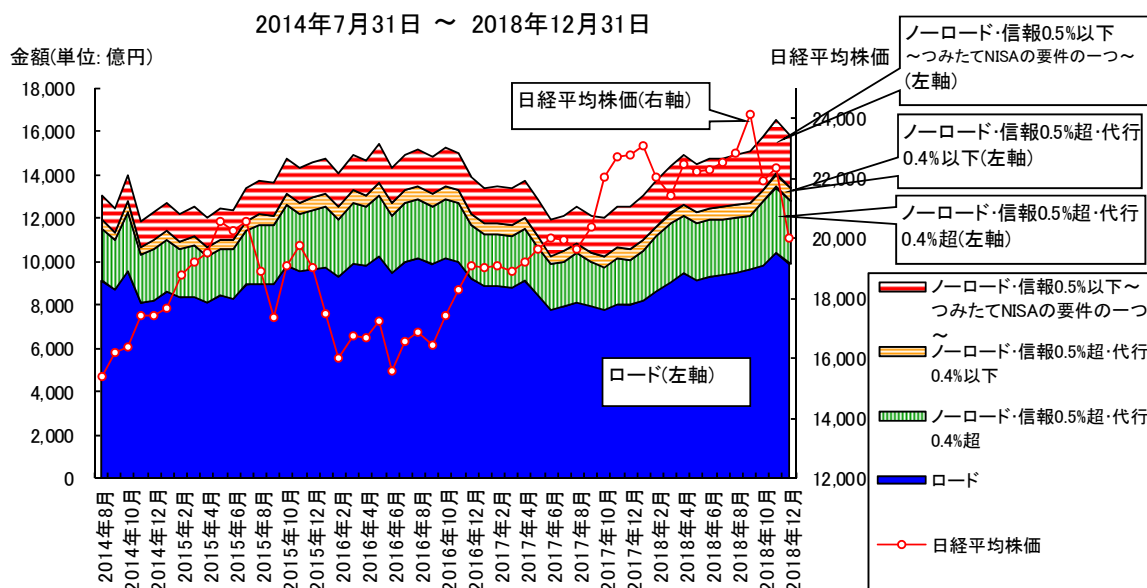
● 日本の公募投信の日経平均株価連動インデックス・ファンド純設定推移(月次)
*ETFを除く追加型。



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

下記は日経平均株価連動インデックス・ファンド純資産推移(月末)である(*ETFを除く追加型)。

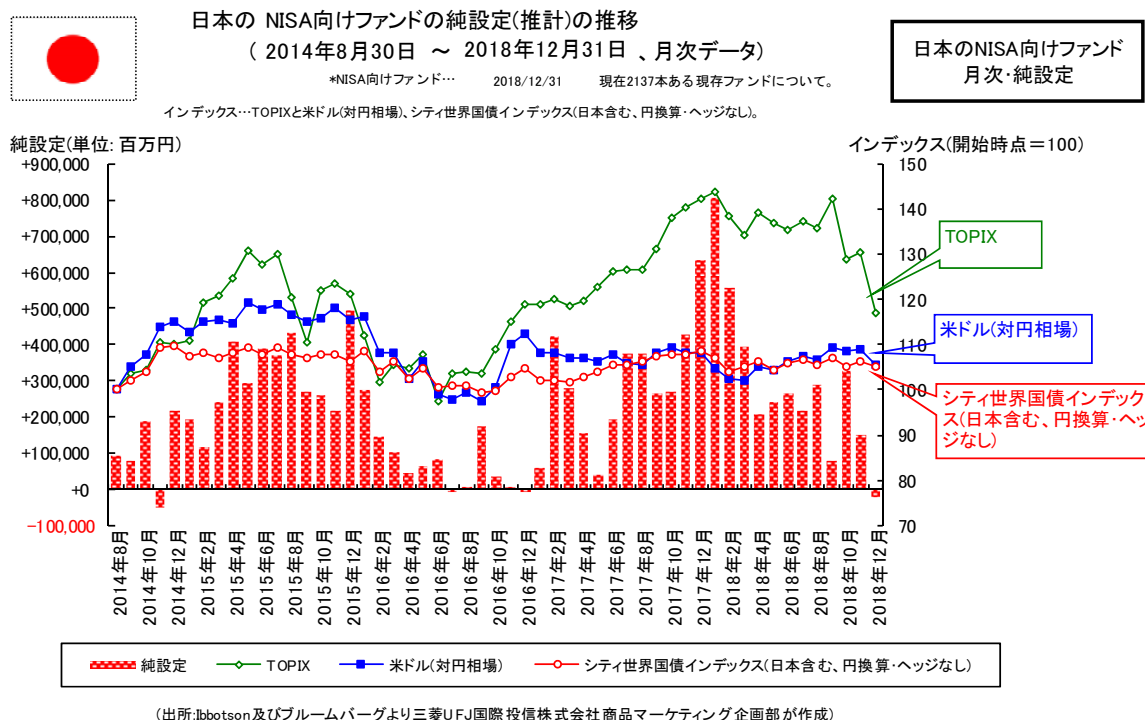
● 日本の公募投信の日経平均株価連動インデックス・ファンド純資産推移(月末)
*ETFを除く追加型。



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

投信フロー最新動向～新規投資家(NISA 向けファンド)は実質グローバル株～

次に新規投資家(NISA 向けファンド)の純設定を見る。 下記グラフの通り、2018 年は 1 月に+8065 億円という NISA 開始(2014 年 1 月)以来最大となり、純流入加速傾向で始まったが、最新 2018 年 12 月は-236 億円と、2016 年 12 月以来 2 年ぶりの純流出に転じ、減速傾向となっている(←11 月+1500 億円←10 月+3270 億円、*NISA 向けファンド…後述※1 参照)。



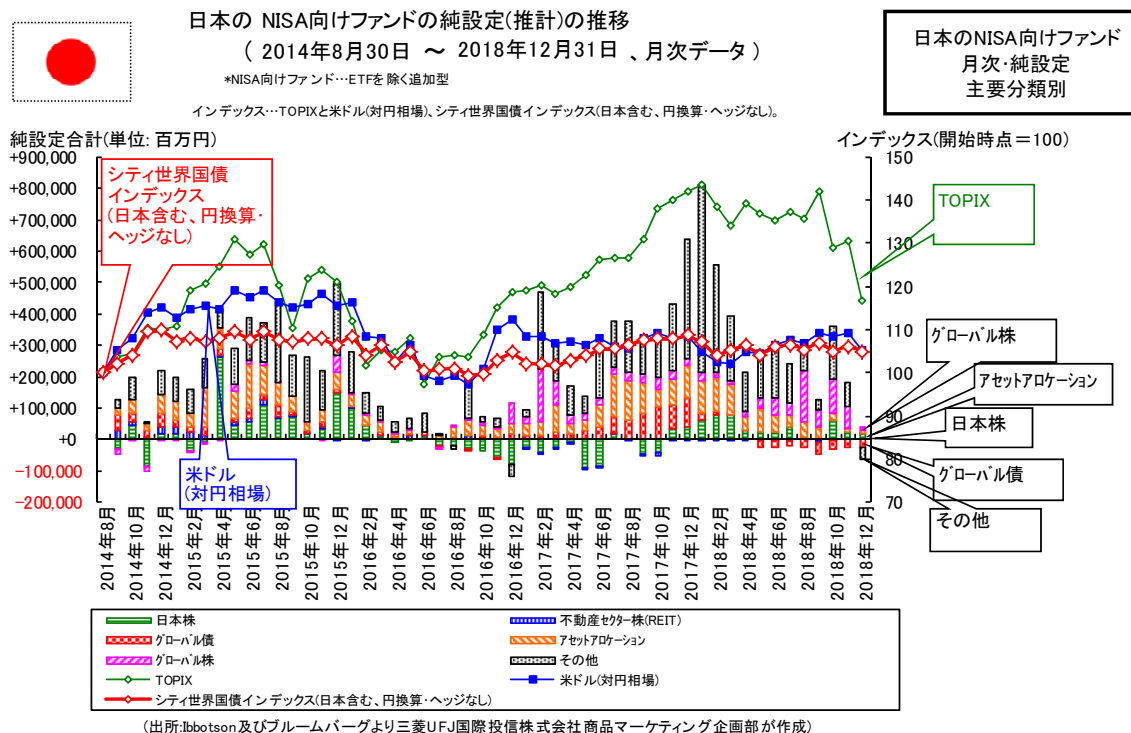
※1: 「NISA 向けファンド」…

投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URLは後述[参考ホームページ]②参照)、2013 年 11 月末時点の契約型公募投信純資産が 1 兆円以上ある投信会社 17 社(*全 84 社の約 90%を占める)の株式投信(ETFを含む)で「NISA 向け」、「NISA 専用」、「NISA で選ぶ」、「NISA におすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013 年 4 月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。

投資信託協会は「NISA においては一般的に、投資未経験者層、或いは久々に投資を行う層を意識して、比較的にリスクを抑えた商品」とも言っている(URLは後述[参考ホームページ]③参照)。尚、2013 年 4 月以降と言うのは、NISA が含まれる税制改正(関連)法が 2013 年 3 月 30 日に成立・政省令公布されたため。また、単位型・限定追加型・年 1～2 回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年 1～2 回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年 1～2 回以外を除いている(*マネー・プールは年 1～2 回でも除いている)。こうした「NISA 向けファンド」を抽出した所、2018 年 12 月 31 日時点で 2137 本となった。

この 2 年ぶりの純流出となった新規投資家(NISA 向けファンド)を投資対象(主要分類)別で見る。 前述した既存投資家と思われる国内投信全体での分類を用いると、最新 2018 年 12 月の純設定 1 位はヘルスケア株(2018 年 10 月から 3 カ月連続 1 位)、2 位は日本株(前月 11 月 4 位)、3 位はグローバル大型株(前月 11 月 2 位)、4 位はアセット・アロケーション慎重型(前月 11 月 6 位)、5 位は米国大型ブレンド株(前月 11 月 5 位)(次頁グラフ参照)。

ヘルスケア株及びアセットアロケーション型、米国大型ブレンド株は「その他」に含み、グローバル大型株は、「グローバル株」に含む。



2018年の1年間(1～12月)ではセクター株、グローバル大型株、日本株、アセットアロケーション柔軟型などの純設定が大きかった。セクター株は、テクノロジーや宇宙関連、ヘルスケアといったテーマで実質グローバル株投資である。

投信フロー最新動向～つみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)は日本株～

最後に、つみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)の純設定も見る(*つみたてNISA適格投信なので、つみたてNISA以外で購入された分も含む、ETFを除く～つみたてNISA適格投信については後述[参考ホームページ]④参照)。

純設定は、最新2018年12月に+440億円と、前月11月(+558億円)を下回るものの、1年11カ月連続の純流入。新規投資家(NISA向けファンド)や既存投資家(投信全体)は12月に純流出に転じていたが、つみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)は純流入が続いている。

このつみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)を投資対象別で見ると、最新2018年12月の純設定1位は日本株(2018年10月から3ヶ月連続1位)、2位グローバル大型株(2018年10月から3ヶ月連続2位)、3位はアセットアロケーション積極型(前月11月3位)、4位は米国大型株(前月11月4位)、5位はエマージング株(前月11月5位)だった。2018年の1年間(1～12月)でも順位は同じだった。

以上、NISA で何が買われたかについて既存投資家、新規投資家、つみたてNISA 投資家の順に見てきた。株式相場が乱高下した2018年を締めくくる12月は、日本株とグローバル株人気が続く。この他に既存投資家とつみたてNISA 投資家ではアセットアロケーションも人気だった。今後を示すものではないが、こうした情報が「商品を選びにくく種類が多く選択に迷う人」(投資信託協会～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)が多いと思われるNISA等を検討する投資家に少しでも参考になれば幸いである。

以上

[参考ホームページ]

①2018年12月29日付日本経済新聞朝刊「緩和相場が終幕、1年で市場一変 株・債券・原油…資産軒並み下落」…「<https://r.nikkei.com/article/DGKKZ039563860Y8A221C1MM8000?type=my#AAAUgJQwMA>」、2018年12月29日付日本経済新聞朝刊「国内株投信、上昇1本のみ 今年、新興市場の不振影響 集中投資型は健闘」…

「<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ039537100Y8A221CIEN2000/>」、2018年11月7日付日本経済新聞「10月の投信、5800億円の資金流入超に」…「<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ03735920005112018000000/>」、つみたてNISAの要件は2017年4月24日付日本版ISAの道 その179「積立NISAの適格投信は全体の1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf」。

②2014年1月8日付投資信託協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって?」…「<http://www.toushin.or.jp/mailmag/>」。

③2013年11月21日付投資信託協会「『NISA』の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査」…「<http://www.toushin.or.jp/topics/2013/10055/>」、2018年3月7日付投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書-2017年」…「<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2017/>」。

④2017年4月24日付日本版ISAの道 その179「積立NISAの適格投信は全体の1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf」。

⑤2013年11月21日付投資信託協会「『NISA』の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査」…「<http://www.toushin.or.jp/topics/2013/10055/>」、2018年3月7日付投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書-2017年」…「<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2017/>」。

三菱UFJ国際投信【投信調査コラム】日本版ISAの道 バックナンバー…「<https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html>」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

本資料中で使用している指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。